

COMMORE LIFESTYLE CATALOG #10

Buddy · Garden · Hobby · Scenery · Others

どっこい生きてますよ！： 過酷な環境でも頑張っているど根性植物たちを紹介します

私たちコモアの住民は「都会のウサギ小屋」や「排気ガスと喧噪の大都会」といった劣悪な環境を抜け出して、「空気がきれいで静かな」コモアに移住してきました。しかし、自分の意志では引っ越しのできない植物たちの中には、不幸にも過酷な環境で必死に生きているものもいます。何でそんなところで？と思ってしまう場所で、それでも生きている健気で逞しいど根性植物たちをコモアの中でピックアップしました。ようやく秋めいてきた日和ですから、お散歩のお供に如何でしょうか。

石垣から花が： これらの花たちはいずれも敷地境界の岩石ブロックの隙間に根を張って花を咲かせました。タネが飛んできて着地したのが不幸にもここだったんですね。それでもきれいに咲く姿を見ると、可愛いし可哀想で抜くに抜けません。



石垣から、こんにちは！

光を求めて： 道路や緑道の端にある雨水枡のグレーチングから植物が顔を出しているのもときどき見かけますね。雨水枡は定期的にふたを開けて清掃がありますから、オルレア（左）のような一年草は根っこから抜かれて短い命が終わります。一方、木本類は刈り取られても根っこが残れば毎年頑張っ再生してきます。右の写真は公正屋近くのサルスベリです。毎年健気に頭を出してきて、去年はピンク色の花も咲いたんですが、今年はなかなか蕾が付かず、花を見る前に9月の定期清掃で刈られてしまいました。どうせなら根っこから掘り起こしてブリッジ上部の花壇にでも植樹して「コモアのど根性サルスベリ」としてお祀りしては如何でしょうか？



排水枡の隙間からオルレア(左)とサルスベリ

電柱を密林に変えて： 南米とか東南アジアの密林を彷彿とするこの光景はコモア内のお散歩愛好家の皆さんには毎年恒例、お馴染みの景色ですね。庭から伸びたノウゼンカズラが電柱に絡みついて覆い尽くし、オレンジ色の花まで咲いている如何にもなコモアの夏の風物詩？です。移動できないか弱い存在としての植物ですから「頑張ってるね！」と言ってあげたいところですが、ここまで来るともはや本末転倒！ど根性で頑張ってるのはこんなに絡みつかれても立っている電柱の方ではないのか？果たして電柱機能は安全に維持できてるのか？散歩しながらいろいろ考える思索の秋の今日この頃です。



中心には電柱が頑張っ立っています

植物たちのこんなど根性な生き様を見ていると、筆者は幼少期に聞いたTVドラマ主題歌の「松の根は岩を砕いて生きている」という歌詞を思い出して、少しウェットになってしまいます。皆さんも感傷的な秋のお散歩を楽しんでくださいね。

コモア ライフスタイル カタログは、仲間・庭・趣味・風景・その他のコモアしおつ住民の共通する話題をピックアップすることで、住民間の意見交換を活性化し、魅力的な街を再生することを目指すツールです。年数回不定期に発行し、コモア内に掲示・回覧すると共に、ウェブ「コモアの風」へのアップを行います。ご興味のある方、ご意見のある方は街並み保全実行委員会編集担当[clsc.editorial@gmail.com]までお知らせください。